



うじたわらの木くん

エコパートナーシップうじたわら

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成19年8月4日（第19号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL (88) 6635 FAX (88) 3231

エコクッキング

～ 台所から生ごみを出さない食べ方の工夫 ～

循環型社会・地球温暖化防止部会（生ごみへらし隊）では、『生活スタイルを見直そう。』を年間のテーマに掲げ、昨年度に引き続き今年度においても、皆様方が気軽にご参加いただけるようなセミナーを企画してまいりたいと考えております。詳細は会報誌にてその都度ご紹介をする予定です。

さて、今年度最初の取り組みとしまして、料理研究家のカ石 幸氏をお招きし、『エコクッキング』セミナーを開催いたします。誰でも簡単に台所から生ごみを出さない工夫についてを、調理と試食、堆肥土の作り方の実演等も交えての“地球やからだにやさしく”そして“美味しいセミナー”となっております。

“食”を通じて一人ひとりが「環境」について考える機会になればと考えておりますので、会員の方々はもちろん、会員以外の方の参加もお待ちしております。

【日時】 8月25日（土） 午前10時から正午まで

【場所】 維孝館中学校 調理室

【参加定員】 30名

【参加費用】 一人につき1,000円（材料費のみ）

【講師】 カ石 幸氏

【内容】 ① 調理及び試食
〔アジのたたき、生春巻き、とうもろこしのスープ、お茶がらのパウンドケーキ〕
② 食と環境の話（堆肥土の作り方の実演）
※ 調理後の生ごみ（魚のアラ、野菜クズ）を使用

【申込み締め切り】 平成19年8月15日（水）

【問い合わせ先】 エコパートナーシップうじたわら事務局 TEL (88) 6635

みんなでうじたわらの田んぼビオトープ

～ 見る・観る・視る・診る・うじたわら ～

自然・生活環境部会では、『見る・観る・視る・診る・うじたわら』を年間のテーマに掲げ、昨年度大変好評であった『自然環境や歴史風土を体験するハイキング』や『町内外の環境施設の研修見学会』など、全住民を対象とした参加型事業を企画してまいりたいと考えております。

本年度の大きな取り組みのひとつとして、町主催：休耕田活用の田んぼ『ビオトープづくり』を推進してまいります。

『ビオトープづくり』とは、野生生物が共存・共生できる生息空間をつくり、かつて身近にいたいろいろな生き物を呼び寄せようという試みです。国内でも多くの自然が破壊された今、残された貴重な生息空間としてのビオトープを保全したり、消失したところを復元創出することがますます重要な社会活動になってきていることから、当部会でも町主催の『ビオトープづくり』に積極的に参画して参りたいと考えています。

『ビオトープ』事業は以下の日程で実施されますので、会員の方々はもちろん、会員以外の方の参加もお待ちしております。

【日時】 8月19日（日）・11月24日（土）・2月2日（土） 何れも午前10時から

【集合場所】 総合文化センター大駐車場

【内容】 [8/19] 田原川的环境とビオトープの生き物たち
～田原川の生き物観察とビオトープにはどんな生き物がやってきたか観察してみよう～
[11/24] 秋の山野とビオトープにどんな生き物たちがやってきたでしょう
[2/2] 冬の田原川やビオトープの野鳥たち みんなで観察しよう

【問い合わせ先】 エコパートナーシップうじたわら事務局 TEL (88) 6635
宇治田原町教育委員会生涯学習課 TEL (88) 5850

会報誌の発行について

広報部会では、『エコパートナーを広げよう!!』を年間のテーマに掲げ、一ヶ月に一度をめぐり、住民の皆さんに会報誌を発行し、情報提供をしています。

現在は、地球温暖化を初めとした環境情報や、各部会が実施するセミナーや行事の紹介（自然観察会やエコクッキングの参加者募集、行事報告 etc）等の記事が中心となっております。

また、本年度から、より住民の皆さんに親しんでいただけるよう、新たに『環境に関するアイデア』『日ごろの取り組みを紹介するコーナー』『環境に関する質問にお答えするQ&Aのコーナー』、更には『環境俳句コーナー』等を掲載してまいりたいと考えております。各コーナーに関しましては、会報誌『エコパートナーシップうじたわら』の紙面において随時ご紹介をさせていただきますので、多数のご参加をお待ちしております。

また、『こんなコーナーを設けてほしい。』『こんな特集記事を掲載してほしい。』などのご要望、ご意見がございましたら事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

マイバッグ運動にご協力を！！

循環型社会・地球温暖化防止部会（生ごみへらし隊）では買い物の際、マイバッグを持参し、レジ袋を断る「マイバッグ運動」を展開しています。

レジ袋は何れ「ごみ」となります。一人ひとりのマイバッグ持参は、身近にできる「ごみ」減量の第一歩であり、買い物の時に渡されるレジ袋の受け取りを辞退するなど、使い捨てのライフスタイルを見直すことで以下の効果・削減を図ることができます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【省資源・省エネルギーのために】

現在レジ袋は、年間300億枚以上が使われています。国民1人当たりで換算すると年間300枚にもなります。これだけのレジ袋を製造するためには、原油が約56万キロリットルも必要で、これは国内で使用される石油の1日分に相当し、膨大な資源とエネルギーが使われています。

【レジ袋を削減する効果は？】

- (1) 排出されるゴミの減量化が図れる。
※ 家庭ゴミに占めるレジ袋の割合は容積で約6%といわれています。
- (2) レジ袋が焼却される際に排出されるCO₂を減らすことができる。
※ レジ袋を生産するときにも実はCO₂が排出されています。
- (3) レジ袋の原料である石油の消費を抑えることができる。

【レジ袋削減への取り組み】

- (1) 買い物の際、マイバッグを持参しレジ袋を断る。
- (2) マイバッグを目に触れやすい所や出入口付近に掛けておき、外出の際には持ち歩く習慣をつける。
- (3) 以前に使用したレジ袋を繰り返し使用する。
- (4) 風呂敷や買物の際にもらった紙袋などを活用する。

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました

宇治田原町、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原工業団地管理組合、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社、区長会、J A 京都やましろ宇治田原支店・田原支店、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、米田造園土木株式会社

※ 平成19年7月末現在（50音順・敬称略）

入会のご案内

- ◆ 会員の区分
 - ・ 個人会員 = 町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
 - ・ 団体会員 = 町内で活動する団体及び法人
 - ・ 賛助会員 = 本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人
- ◆ 会費
 - ・ 個人会員・団体会員については、無料です。
 - ・ 賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。
- ◆ 入会の方法
 - ・ 入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。
- ◆ 部会
 - ・ 広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
 - ・ 自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
 - ・ 循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

【お問い合わせ先】エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町循環型社会推進センター内）
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10
TEL: 0774-88-6635 FAX: 0774-88-3231
Eメール: junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原